

Q & A

Q プランターや鉢で使った古い土の再利用方法を教えてください。



A 古い土をゴミとして毎回処理するのは大変ですし、もったいないです。しかし、古い土をそのまま利用してしまうと、植物が元気に育たないことが多くあります。古い土をきちんとリサイクルして、植物が元気に育つ土にしましょう。

### ゴミの除去

植物の根などのゴミが混ざっています。雑草や苔を取り除き、土を取り出し、土の中にある植物の根や枯れた株を手やふるいで取り除きます。



### 土の消毒

古い土には、害虫や病原菌、ウイルスが潜んでいることがあります。黒いビニール袋に湿らせた土を入れ、日光の熱で消毒をします。



### 土をブレンドする

古い土は土の粒が細くなり、団粒構造が崩れています。植物が育ちやすい通気性や水はけの良い土にするために堆肥や腐葉土、新たな土を混ぜます。



再生した土に肥料を加え、植物を植えて楽しんでください。



那須野が原公園緑の相談所

これやってみよう！

『昆虫標本づくり』に挑戦！

大切に育てた、夏の思い出を標本にして残してみませんか。昆虫を標本にして、体の造りをよく観察することは、とても勉強になります。



★用意するもの

- ・ 昆虫 ・ 標本箱
- ・ 標本針（まち針でもよい）
- ・ 展足板（針がささるもの）
- ・ 先の細いピンセット
- ・ 密封できる入れ物
- ・ 乾燥剤、防虫剤



★つくり方

① 標本にしたい昆虫の汚れをおとします。

硬くなっているものは軟化させ、関節を動かしやすく

② します。（お湯に1時間くらい漬けておきます。）



③ 展足板の上に足を広げた状態の昆虫をのせ、右はねに1か所と胴体のまわりに針をさし、体が動かないようにします。



④ 6本の脚の形を整えながら針をさして、固定していきます。触角も忘れずにさします。

⑤ 形が整ったら乾燥させます。

⑥ 体がしっかりと固まったら、はねにさした針だけを残し、体が動かないように固定して完成です。



那須野が原公園では毎年8月に「昆虫の標本づくり」講座を開催しています。

今回は、トクノシマノコギリクワガタの標本をつくりましたが、講座ではカブトムシをつかって標本をつくります。ちいさなお子さまでも大人の方と一緒につくることができまますので、ぜひご参加ください。

参考資料・那須昆虫ワールド  
那須野が原公園緑の相談所